



KUMAMOTO

The Weekly Bulletin
GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ

「世界に希望を生み出そう」 R.I. 会長 ゴードン R・マッキナリー

2023～
2024年度
テーマ

R.I. 2720 地区テーマ

「ロータリーは学舎であり、遊び場である」
「そして、ロータリーアクションは世界を変える」

R.I. 2720 地区 ガバナー 膳所和彦

熊本 G.R.C. テーマ

「奉仕の輪を広げよう」

熊本グリーン RC 会長 江上泰弘

世界に希望を生み出そう

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311■創立：平成元年2月22日 ■会長：江上泰弘 ■幹事：山口 翼 ■会報担当：西本周平
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第 1517 回

2023 - 2024 年度 第 32 回

令和 6 年 4 月 15 日

【例 会】

- ・「我等の生業」(ロータリーソング)

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (江上 泰弘 会長)

なし

会長スピーチ (江上 泰弘 会長)

今晩は、今日の深夜が8年前の熊本地震の2度目の震度7が起こった日ですね。マスコミでも8年前の熊本地震を大きく報道しています。

最初の震度7の地震の時は、このホテルで女子プロゴルフの大会の前夜祭が行われていました。私の会社では大会の出場者の組み合わせや順番を掲載したペーシングシートの印刷の準備をしていました。10トンは優にあると思われる機械も1メートル程ずれて稼働できない状態でした。主催者にも連絡が取れず右往左往していました。翌日中止の報道がありました。

我が家も大規模半壊の被害がありました。数日すると全国から支援のトラックや自衛隊の輸送車・いろんな自治体のご

み収集車など多くの支援、応援に感謝しました。

地区のロータリークラブでは、「ロータリー熊本地震総合支援室」を立ち上げ地区内74クラブの被害状況の把握や活動支援の義援金のお願いをされました。被災現場のニーズは刻々と変化するもので現場のニーズを見極めた上で、2720地区ロータリアンが一致団結してそれぞれの地域社会が復旧・復興に向けて進みましようとの事でした。

地区内外からの義援金総額は275,030,769円でした(2017年6月)感謝です。

幹事報告 (山口 翼 幹事)

■報告事項

例会終了後、「臨時理事会」を開催致します。理事・役員の皆様はお残り下さい。

■報告事項 (その他のロータリー関係)

熊本東 RC 「創立 60 周年記念式典」の御案内

日時:令和 6 年 7 月 7 日(日)

記念式典 16:30～

記念講演「熊本都市圏未来予想図」

(菊陽・御船・甲佐 3 町長によるパネルディスカッション)

祝賀会 18:30～

場所:熊本ホテルキャッスル

登録料:13,000 円

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

4/22 河島一夫会員卓話

4/29 祝日休会

5/3 祝日休会

5/13 地区出前セミナー「青少年奉仕部門」

地区ローターアクト委員長 宇野功一氏(肥後大津 RC)

[熊本グリーン RC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

★会長・幹事が次年度会長・幹事かその代理でクラブより2名位への出席要請が来ております。

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本' 05h 福祉 RC]

5月21日(火)の例会は、地区大会本会議のため、5月18日(土)パトリア日田にて行います。サイン受付はありません。

●例会取り止め

[熊本' 05h 福祉 RC]

5月7日(火)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サイン受付はありません。

出席報告 (齋藤義鷹 会員)

	会 員 総 数	21名	出席率
4 月 15 日	出席免除会員数	0名	57. 14%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	12名	
3 月 18 日	前回の出席会員数	13名	61. 90%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

委員会報告

「ロータリーの友」4月号紹介

報告者:河島一夫公共イメージ委員長

スマイル

(田代 武 会員)

●江上泰弘君、山口翼君

「本日は地区研修協議会報告パートIIになります。皆様宜しくお願い致します。」

●河島一夫君

「今朝3時からオーガスタを見ました。シェフラーが優勝しましたが、世界順位1位だそうで技術

もですが精神力がすごいと思いました。松山さんは残念でした。オーガスタだけ見ていて面白いものです。」

●田代武君、田中慎二君、栗山義則君

「本日は地区研修協議会の報告です。宜しくお願い致します。」

3. 例会プログラム

「地区研修・協議会 報告」PART II

- ・会員増強部会 山口 翼会員
- ・職業奉仕部会 下田祐輝会員
- ・国際奉仕部会 西本周平会員
- ・青少年奉仕部門 齋藤義鷹会員
- ・米山奨学会部門 田代 武会員
- ・幹事部会 河島一夫会員

●会員増強部会 山口 翼会員



活動方針

会員増強を推進する

部門の取り組み

- ・若い世代、女性会員、ロータリーを知らない世代にPRしロータリーの素晴らしさを伝え入会に繋げる活動を行う
- ・会員が減っている場合、クラブが活動を行ってきたことを見直す必要がある

会員増強拡大部門の責務

- ・クラブ増強委員長が入会促進、現会員の参加促進という責務を実行できる支援
- ・委員会活動の進捗、課題、機会についてロータリーコーディネーター、地区ガバナーと連携する

●職業奉仕部会 下田祐輝会員



2024 年度職業奉仕部門では、部門長古田哲朗部門長(熊本東南 RC)の下で「4つのテストの実践～職業奉仕のウィーサーブ～」を部門のテーマとされました。

【活動方針】

1. 4つのテストの「公平かどうか」を掘り下げる
2. 集合研修と出前セミナーの一本化 【集合セミナーのご案内】

日にち 令和6年10月5日(土)

時間：午後1時～午後4時30分(予定)

場所：くまもと森都心プラザ(熊本駅前)

内容：職業奉仕部門の集合セミナー

備考：ご案内は8月初旬に発送予定

※久しぶりの集合セミナーですのでふるってご参加ください。上記の内容を説明いただきました。職業奉仕部門は「ロータリーにおける職業奉仕の理念」を会員に伝え、会員一人ひとりの職業奉仕活動をより発展するものに繋がられるような活動を目指すということでした。出前セミナー・集合研修などを通して職業奉仕部門の活動を会員に伝えていく予定です。

●国際奉仕部会 西本周平会員



・テーマ「不変と変化～変えない思い、変わらなければならない時代」

・ロータリー財団や米山奨学部門とタイアップし、補助金や学友のつながりを通じて国際交流をバックアップしていく

・県内在住海外の方々へのサポート模索等委員会を立ち上げる。

・出前セミナーを実施させて欲しい。卓話の時間を使い費用は一切負担なく行える。

・国際交流希望のクラブがあればマッチングできる。

2720 地区では 76 クラブ中 39 クラブ、約半数のクラブが国際交流を行っており、その大部分は台湾、韓国である。距離が近いなどの理由で台湾・韓国が人気。地区としては 3523 地区とのあっせん、マッチングが行える。そのほかの国や地域でも問題ないので、どこの国、地区などを教えて貰えればあっせん可能。

・国際交流の始めとして、難民募金や留学生や職業訓練生を卓話に呼んでほしい。

・視察などで補助金が使え有的时候があるので、希望があれば相談してほしい。

●青少年奉仕部会 齋藤義鷹会員



部門長井上那広部門長のお話をさせていただきます。

青少年奉仕の目的 「才能ある人財を育てる」を原点としロータリーの変革に対応しながらクラブの奉仕活動をサポートしていく。

〈活動計画〉

・地区戦略計画 2024 の実行にむけた取り組み

・RI が推進する「ローターアクトの自立」の問題点、課題点を洗い出し提唱クラブと共に支援していく。またモデルとなるような新クラブの設立も目指す。

・再開した各委員会の活動を維持継続し、更なる発展ができるようにサポートする。また

地区内クラブの青少年奉仕活動に役立つ情報発信を行う

- ・全国研修会やRUYEMによる情報などを地区内に発信する。また個人情報保護ルールを守りながら地区ホームページ等に提供する。

- ・出前セミナーを成功させるために各委員会でスキルアップを目的とした研修を行う。を青少年奉仕部門は、強く行っていき、ロータリーの活動を明確にしていき若手のロータリアンを作っていきます。

●米山奨学会部門 田代 武 会員



- ・ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業。また、将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命。

- ・三村年度は下記の方針で進める。

①クラブ米山委員会の活性化→世話クラブの拡大

対面型のセミナーの実施(夏季セミナー、カウンセラー報告会との同時開催)米山親善大使の活用のPR

②米山学友会の活性化→組織の再立ち上げ 他地区の学友会に学ぶ。九州地区の学友会との共同活動。

③米山記念奨学会について再学習→温故知新行事やイベントに追われて忙しすぎる地区米山。大分・熊本の別地区のよう。奨学性との関わり方を再検討。指定校の拡大。指定校から推薦のあり方を再検討。

- ・各クラブへの訪問前年度に引き続き、各クラブで米山奨学生の卓話訪問を企画している。期間は7月～12月。毎年米山月間(10月)に卓話依頼が集中するため、時期の平準化に協

力してほしいとのこと。ロータリー財団は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすこと通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように支援する。

●幹事部会 河島一夫会員



委員長から、幹事の役割とマイロータリーの推進と利用についての話が30分ほどあり、その後は、各グループ(熊本第一グループ)に分かれ、グループディスカッションとなる。第三グループは、北ロータリーの和田君が進行して行われた。

一、幹事としての役割

クラブの要として、重要な役であることで、クラブ全体の運営に気を配ること

一、マイロータリーの取得を進める

クラブによっては、登録していないロータリアンが多いので、例会を利用して推進に努める。私どものクラブでは、卓話を利用してある程度取得していると思われる。しかし、利用度は疑問である

一、例会の運営について 幹事が例会進行を行っているクラブもある。熊本クラブは幹事が行なっている。私どもは、S.A.A.が行なっている。クラブによって役割が違う。

4. 閉会・点鐘